

夫婦のための出産準備イベント「もうひとつの両親学級」

a little（関係課：地域保健課・子育て総合センター）

事業費 367,359 円
助成額 208,000 円

●当初の課題・事業目的

西宮市内に暮らす子育て世帯の多くが地域に子育てについて相談できる人がおらず、子育て情報の入手が困難なまま出産を迎えています。妊娠中から地域につながり、行政サービスとつながることが必要とされます。本事業では、1日でお産に関する情報を入手でき、夫婦が一緒に出産・育児の準備を整える時間を持つことができるようにしました。また、市民や子育て支援者、専門家（助産師・保健師・子育てコンシェルジュ）と出会えることを目的としました。



代表 さかぐち ゆうこ

●事業概要

2019年11月30日（土）

第一部 9時半～13時 参加者 6組（11名） 第二部 13時10分～16時半 参加者 6組（12名）

実施場所：若竹公民館（講堂・実習室）

講師：①バースプランづくり（NPO法人ムラのミライ 原康子・山岡美翔・a little さかぐちゆうこ）

②マタニティフォト（株式会社ファイナリープ） ③料理講座（西古屋由美子）

④相談（助産師 鳴坂広美・森田輝）

概要：5つのブースを夫婦でまわることで出産に必要な準備が整います。

①バースプランづくりでは、出産までに必要になることを夫婦で考える時間を持ちました。

②出産準備への思いと誓いを撮影。③料理講座ではラクに短時間でできる料理について学びました。試食あり。④相談ブースでは、助産師・保健師・子育てコンシェルジュに個別に相談。

⑤マタニティヨガを実施。

その他産褥部屋や産後サポートの利用法、子育て広場などのおでかけマップを展示。



●事業の成果・工夫した点

産後の養生が必要であること、また夫婦以外の手助けが必要であることを講座や展示物で表現しました。夫婦が二人で出産・育児について考える時間を持てるように講座を組み立てました。市民ボランティアや専門家（子育てコンシェルジュ・保健師等）と話す時間を持てるよう相談ブースや掲示物の案内などに人を配置しました。

●苦労した点・今後の課題

大勢の協力者と限られた時間の中で、準備や当日の動き等の確認を行う必要があり、細やかなやり取りが必要でした。今後、事業を行う際には、細かいスケジュール確認を行うことや準備品などをリスト化しお互いに確認する工夫が必要だと感じています。

●責任者の感想

参加者からはイベント後のアンケートにおいて高評価をいただきました。また、イベント終了後に参加者から出産報告が届いたり、当団体主催のイベント等に参加いただいたりという関係が続いています。子育て家庭が地域とつながり持つという点において、当初の目的を果たすことができたと実感しています。